

教 育 委 員 会 資 料
令 和 8 年 6 月 25 日
生 涯 学 習 課

令和7年度生涯学習課が所管する施設の指定管理業務事業報告について

令和7年3月6日開催第5回教育委員会において承認を得た「令和7年度の生涯学習課が所管する施設の指定管理業務」について、下記により令和7年度の事業の実施状況について報告する。

記

- | | | |
|---|----------------------------------|--------------|
| 1 | ハケ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料1】・・・P.2 |
| 2 | 教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料2】・・・P.6 |
| 3 | グリーンカレッジホール指定管理業務にかかる
事業報告の概要 | 【資料3】・・・P.10 |
| 4 | 郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料4】・・・P.16 |

令和 7 年度八ヶ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

令和 7 年度利用者数 延 20,463 人

区分	区立中学校 移動教室等	青健事業	行政利用	一般	キャンプ 施設	アウトドア キッチン	合計
令和 7 年度	6,486 人	2,214 人	14 人	6,904 人	600 人	4,245 人	20,463 人
令和 6 年度	6,209 人	1,639 人	10 人	6,788 人	670 人	3,748 人	19,064 人
前年度比 (増減数)	104.5% (277 人増)	135.1% (575 人増)	140% (4 人増)	101.7% (116 人増)	89.6% (70 人減)	113.3% (497 人増)	107.3% (1,399 人増)

令和 7 年度の総利用者数は延べ 20,463 人となり、前年度から 1,399 人増（前年度比 107.3%）となった。

令和 7 年度は、利用者が概ね増加傾向にあり、特にアウトドアキッチンはメニューの増加や青健事業の参加者の増加により、前年度比 113.3%となった。

2 管理運営業務実施状況

（1）施設の管理運営

受付業務、食事提供、衛生管理など、運営業務全般において事業計画に基づき適正に運営を行っていた。受付業務では、利用者アンケートにおいて「スタッフの対応の親切さ」「スタッフの説明のわかりやすさ」の満足度が9割を超えており、親切・丁寧な接客に努めていたと評価できる。

食事提供・衛生業務については、食品衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理や外部衛生検査に努めている。食事については、メニュー内容の見直しなど、満足度向上に努めているが、「食事内容」の満足度が 88%にとどまっており、引き続き改善を続ける必要がある。

食品に関する事故の防止については、食物アレルギー対応マニュアルの再確認や、職員研修を通じて周知等、徹底した対策を講じており、食品に関する事故は 0 件であった。

（2）施設の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理・植栽等の維持管理、設備保安業務については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めた。また、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報の保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んだ。

施設・設備の修繕工事は、必要性を精査し、計画書の範囲内で行われていた。その

他、消防設備保守点検や建築設備定期点検などの日常点検で異常の発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

(3) 移動教室・青少年健全育成事業（青健キャンプ）

移動教室については、22校全ての学校が計画どおり実施することができた。アレルギード対応や体調不良の生徒への対応も、学校と連携し円滑に対応することができた。

アンケート結果によると、移動教室全体の満足度は90%、緊急時の対応についての満足度は98%となっている。

一方で、昼食に提供した弁当について、腐敗臭がするとの訴えが生徒からあり、健康被害はなかったものの管理方法に課題が生じたため、以後弁当はクーラーボックスに入れて運搬することとした。

また、バス運転手の飲酒に伴う深夜徘徊があったため、以後バス運転手は生徒とは別の宿舎に泊まることとした。

青健キャンプについては、榛名林間学園の閉鎖に伴い夏季期間は昨年度から2地区増えて11地区での実施となった。実施に向けて地域センター担当者と丁寧な調整を行った結果、スムーズに運営することができた。

また、青健事業で初めての冬季の利用があったが、一般利用者と並行して円滑に受入れることができた。

3 利用者サービスの向上

(1) 利便性の提供

利用者がより快適に過ごせるよう、アンケートを参考に可能な範囲でサービス向上に努めている。

運営の様々な部分に指定管理事業者の強みであるアウトドアノウハウを活かした取り組みを行っており、移動教室や青健キャンプでは希望する団体に「ドラム缶ピザ」や「鹿革のキーホルダー作り」などのアクティビティを実施し好評を得た。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートを実施し、利用者からの意見・要望等に対して、対応方法を検討し、改善に取り組んだ。

4 管理運営経費の収支状況

＜＜収入＞＞

項 目	予算額	決算額
委託料		
施設使用料		
食事料金		
返還金		
合 計		

＜＜支出＞＞

項 目	予算額	決算額
人件費		
食材費		
維持管理費		
修繕・工事費		
大型キャンパステナント購入費		
本社経費		
合 計		

＜＜差引＞＞

項 目	予算額	決算額
差引（利益）		

（１）収入

収入については、予算額に対し決算額は、 円減の %であった。施設使用料、食事料金ともに昨年度の実績（施設使用料 円、食事料金 円）を上回っている。

光熱水費のうち、国の電気・ガス料金負担軽減支援事業による還元相当額の 円が区に返還された。

（２）支出

支出については、予算額に対し決算額は、 円増の %であった。

物価高騰に伴い、食材費が昨年度と比べて 円増加（昨年度比 %）となるなど、難しい運営が続いた。

5 自主事業の実施状況

一般宿泊者を対象にドラム缶ピザづくり体験、焚火体験、天体撮影会などの自然を体験するイベントを延べ6回実施した。その他、親子キャンプや親子スキーなどの宿泊型イベントを計9回実施した。体験イベント・宿泊型イベントともに、参加者からは好評を得ている。

イベント以外にも、各種レンタルや物販を、計画どおり年間を通じて実施した。

6 所管課の評価等

(1) 評価

施設の維持管理については、保守点検や清掃、個人情報の適切な管理を含む通常の受付業務等全般において、年度協定どおり適切に行われている。

利用者の意見・要望等については対応を検討し改善に努めている。一般利用者アンケート調査の結果では、施設全体の満足度 95%、職員対応の満足度 93%、衛生面の満足度 95%と良好な評価を得ている。なお、アンケート回答者の 99.8%が「また利用したいと思う」と回答している。

利用者への丁寧な対応や衛生面の徹底など、利用者が快適に施設を利用できるような施設づくりが、高い満足度につながっていると評価できる。

(2) 今後の課題等

利用者アンケートでの満足度は全体として概ね好評を得ているものの、食事や備品に対する満足度が低い傾向にあり、利用者からも要望が寄せられているため、早急に対策を検討し、改善に取り組んでいく必要がある。

また、利用者アンケートによれば、利用頻度が年1～2回の方の割合が昨年度に比べて増加（令和7年度 44%、昨年度 31%）している。さらなる利用者増に向け、利用者にもた利用したいと思ってもらうことが重要である。その点で、指定管理者の持つアウトドアのノウハウを活用した、野外調理メニューやアクティビティの開発は、自然豊かな八ヶ岳荘の特徴と合致しており、独自性のある魅力となっている。今後もアウトドアを中心とした事業を展開し、八ヶ岳荘の魅力を向上させていく必要がある。

移動教室や青健事業については、安全性や満足度を損なうことがないように引き続き所管部署と丁寧に調整していく必要がある。

令和 7 年度教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

区 分	入館者数	プラネタリウム観覧者数
令和 7 年度	209,531 人	55,186 人（うち有料投影 37,898 人）
令和 6 年度	208,093 人	55,961 人（うち有料投影 36,530 人）
前年比 （増減数）	100.7% （1,438 人増）	98.6% （775 人減、うち有料投影 1,368 人増）

令和 7 年度の入館者数は、前年に比べ 1,438 人の増（前年度比 100.7%）となった。プラネタリウムの観覧者数については、前年に比べ 775 人の減（前年度比 98.6%）という状況である。

2 管理運営業務実施状況

（1）事業運営

令和 7 年度の事業運営全般については、事業計画に基づき下記①～⑤のとおり実施した。

【主な事業実績】

① 展示

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
常設展示	科学の原理原則に基づいた展示	常設（開館日全日） 観覧料無料
企画展	学校の長期休暇期間等を実施する、特定のテーマに関する展示。	年 4 回実施 延べ 106,776 人参加
第 13 回いたばし自由研究作品展	区内の小中学生を対象に、夏休みの自由研究作品作りをきっかけに募集し、優秀作品の表彰を行う。	161 作品応募

※主な企画展

春季「災害の記憶と記録展」期間 3 月 1 日～4 月 6 日

夏季「ウニコレ!? ～棘皮動物はふしぎ～」期間 7 月 20 日～9 月 1 日

② STEAM 探求

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
科学技術重点型事業	多様な科学体験を提供するワークショップ、ショー、教室等。	年回 183 回実施 延べ 5,941 人参加
プログラミング・アート重点型事業	自ら身の回りの課題を発見し、プログラミング的思考で解決するワークショップ、講座、教室等。	年回 124 回実施 延べ 980 人参加

③ ラボ事業

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
館内外ラボ	教育科学館スタッフの研究領域を公開・レクチャーし、探究活動を促進する。	年 136 回実施 延べ 2,727 名参加

④ プラネタリウムドーム

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
レギュラー投影	ターゲット層に合わせた星空解説および番組投影	44,527 人
イベント型プラネタリウムドーム事業	プラネタリウムドーム内を活用した、特定のテーマに沿った投影や各種イベント	3,884 人
各種団体	幼児及び幼稚園・保育園等に向けた投影	区内特別支援学校ほか 1,425 人

⑤ 連携事業

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
移動教室	区立小学校 52 校の 4 年生および区立中学校の希望校が対象	4,115 人 中学校無し
出張ワークショップ	希望する区立保育園・小・中学校で各種学習事業（職場体験等）	1,197 人
板橋 6 大学連携事業	区内 6 大学と連携したワークショップ	161 人
図書館連携・地域連携	中央図書館・いたばし観光センター等の区施設及び地域と連携し行う講座、ワークショップ、ショーなど。	3,347 名

⑥ その他（広報/ブランド戦略）

- ・移動教室説明会や各種研修会への施設貸出
- ・主管課との連携事業（産業見本市ワークショップ、いたばしサイエンスクラブ、ハケ岳荘との宿泊イベント等）

(2) 施設の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理等の維持管理については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めている。特に給排水・熱源・建物設備について発生した異常に対し迅速かつ適切な対応を行った。更に、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んだ。

施設・設備の修繕工事は、必要性のある修繕を精査し、適切に行われていた。その他、各種の保守点検や定期点検だけでなく、日常点検についても丁寧に確認し、異常の早期発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

3 利用者サービスの向上

(1) 広報

広報いたばし、科学館ニュースといった従来の広報手段に加えて、SNS（フェイスブック、X、LINE）を活用し、各年代に適した広報活動を行った。

更新停止中のフェイスブックを除き、各SNSのフォロワーは増加しており、効果的な情報発信が出来ている。

結果、サービス水準として設定している、ホームページの閲覧件数、ツイッターフォロワー数、マスコミ・情報誌の登場回数に関し、全ての目標値を大幅に超えている。

(2) アンケートの実施

プラネタリウム投影と科学事業において利用者アンケートを実施した。プラネタリウム及び科学事業は「大いに満足」「満足」の割合がともに97.0%となるなど、極めて高い評価を得ている。

4 管理運営経費の収支状況

【収入】

項 目	予算額	決算額
委託料		
連携事業（絵本のまち板橋）		
プラネタリウム観覧料		
施設貸出使用料		
各種教室参加費等		
イベント型プラネタリウムドーム事業		
合 計		

【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費		
維持管理経費		
事業運営費		
修繕・工事費		
精算工事		
本社経費		
合 計		

【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（営業利益）		

(1) 収入

令和 7 年度の収入について、予算額に対する決算額は、 円増の %と計画通りの収入となった。内訳としては、プラネタリウム番組投影などにより、予算額に対する決算額の割合が、プラネタリウム観覧料 %と計画値を大きく上回り、各種教室参加費等についても、積極的な事業展開により計画を超える額を確保することができた。

(2) 支出

支出については、予算額に対し決算額は、 円増の %であった。内訳としては、予算額に対する決算額の割合が、維持管理費 %と下回っている一方、事業運営費 %と増加している。区内大学や産業との連携事業の深化や既存事業のアップデートにより、これまで以上に多くの積極的な事業を展開した。

最終的な営業利益は、予算額に対し決算額は 円増の %となった。

5 自主事業の実施状況

指定管理者の科学教育ノウハウを活かし、各種団体と連携したワークショップ等の事業実施や、カプセルトイの販売を行った。

6 所管課の評価等

(1) 評価

令和 7 年度は、2 月から 3 月にかけて長期にわたって休館となっていたにも関わらず、入館者が増加したことは魅力的な各事業や効果的な広報活動の賜物であり、非常に評価ができる。特にプラネタリウムで実施した人気アニメ作品とのタイアップ展示では、従前のファミリー層だけでなく、青年層から熟年層まで幅広い新規顧客開拓を行った。

設備の維持管理についても、各種設備点検を行い、耐用年数を超過した部品の交換や、今後の保全方法に関しての提案ができています。また、設備に関して不具合が発生した際は、メーカーと原因の究明や対応方法について丁寧に確認し、適切な復旧計画を立てるなど、非常に効果的な施設管理が行われている。

(2) 今後の課題

講座（イベント）の定員に対する参加率が 85.6%と、令和 6 年度の比較し 1.8 ポイント減少している。事業者もこの状況は把握しており、申込時の受付にて先着順や抽選等の方法を明示し、平等な利用機会の確保や進行スケジュールの精査等、適切な管理運営に努めているところである。

施設の経年劣化については継続的な課題となっており、特にプラネタリウムは修理に必要な部品の生産も終了しており、稼働できない場合、運営に大きな影響が出ることから、速やかに更新を検討する必要がある。

令和7年度グリーンカレッジホール指定管理業務にかかる 事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

	利用者数	稼働率
令和7年度	75,687 人	46.5%
令和6年度	72,610 人	46.4%
前年比 (増減数)	108.9% (5,944 人増)	100.2%

【稼働率内訳】

令和7年度 年間稼働率									実働359日
室名	午前	午後	夜間	稼働可能件数	利用件数	稼働率%	総稼働可能件数	総利用件数	総稼働率
教室 1A	125	161	81	1947	706	36.3%	2154	913	42.4%
教室 1B	117	122	100						
教室 1合計	242	283	181						
教室 2A	143	248	97	2088	907	43.4%	2154	973	45.2%
教室 2B	117	226	76						
教室 2合計	260	474	173						
教室 3	117	131	140	895	388	43.4%	1077	570	52.9%
ホールA	195	279	161	2150	1096	51.0%	2150	1096	51.0%
ホールB	129	190	142						
ホール合計	324	469	303						
集会室1	161	242	71	1077	474	44.0%	1077	474	44.0%
集会室2	115	239	128	1077	482	44.8%	1077	482	44.8%
計	1219	1838	996	9234	4053	43.9%	9689	4508	46.5%

令和7年度の利用状況は、利用者数 75,687 人・施設稼働率 46.5%となり、前年度の利用者数 72,610 人・施設稼働率 46.4%と比較し、利用者数は前年比 108.9%と増加した。稼働率は 46.5%で、前年度比 100.2%とほぼ横ばいとなっている。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設の管理運営

令和7年度は指定管理2年目である。利用者アンケートにおいて、「サービス全般的な満足度」及び「職員・スタッフの対応」について、「とても満足」「満足」と回答した割合はそれぞれ 80.0%、82.0%であった。また、当該指定管理者が力を入れている清掃面では、82.5%の利用者が満足していることから、清潔かつ安定した施設管理が行われている。

(2) 施設の維持管理

施設・設備の保守点検業務については、再委託業務を含め年度協定、仕様書及び事業計画書のとおり適切に実施した。設備の不具合等による修繕については、施設への影響を考慮しながら合計9件の修繕を実施した。

【主な修繕工事】

- ・マイクチューナー交換（3階教室2）
- ・モニター交換工事（3階教室1）
- ・壁面塗装欠損部補修（4階ホール）

3 事業実施状況

(1) 板橋グリーンカレッジ運営補助業務

〈定員・講座数一覧〉

教科（コース）	定員		講座数	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
1年生	300人	300人	46回	46回
専門課程（令和6年度） 2年生（令和7年度）※	400人	240人	54回	54回
大学院 健康福祉	30人	30人	13回	13回
大学院 文化文学	30人	30人	13回	13回
大学院 社会生活	30人	30人	13回	13回

※令和6年度から年齢制限を撤廃し、全世代を対象に開校している。また、科目選択制を導入するとともにコースの再編を行い、専門課程を1年生に改めた。

〈板橋グリーンカレッジ関係事業参加者数実績〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和7年度	491人	1,158人	2,136人	1,264人	331人	250人
令和6年度	150人	1,281人	1,258人	1,122人	687人	762人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和7年度	1,260人	1,170人	1,056人	808人	613人	211人
令和6年度	1,050人	767人	1,010人	654人	960人	271人

【合計】

令和7年度：10,748人（前年度比107.8% 776人増）

令和6年度：9,972人

板橋グリーンカレッジ事業の補助業務については、講座レジュメの印刷、講座当日の受付・案内・資料配布、講師対応、教室内設営・片付け等、滞りなく実施した。

(2) 提案事業

指定管理者からの提案により実施する「提案事業」についての前年度との比較は以下のとおりである。

	提案事業実施回数	参加人数
令和 7 年度	204 回	7,359 人
令和 6 年度	200 回	8,216 人
前年比 (増減数)	100.2% (4 回増)	89.6% (857 人減)

次年度以降も見据えた継続的な提案事業の実施に向け、講師や講座の新規開拓に取り組み、提案事業の実施回数を昨年度から 4 回増加させた。参加人数は昨年度から 857 人減の 89.6%となっているが、これは新規講座については定員を絞って実施したことによるものである。

また、多世代化を促進する事業体系である「夏休み子ども塾」を昨年度からさらに拡充させ、小学生を対象とした「英会話」「ヒップホップダンス」等の 22 講座を実施するとともに、同じく小学生を対象とした、「チアダンス」「ヒップホップダンス」等の講座を開催した。その他、地域と連携し、「地域交流コンサート」を 8 回実施するなど、合計 204 回の事業を実施した。

令和 7 年度の提案事業の実施結果については次ページのとおりである。

令和7年度 提案事業一覧表

事業名	実施計画	予定 回数	実施結果	実施 回数	参加 人数	オンライン講座	オンライ ン講座 数
GCH 地域交流 コンサート、演劇	4月: オールディーズコンサート 5月: カヤグムコンサート 6月: ベベル&モコ 10月: 秋の落語 12月: オペラコンサート 3月: 地域コンサート	5	4月: オールディーズコンサート 5月: カヤグムコンサート 6月: ラテンコンサート 7月: トロンボーンコンサート 8月: ビッグバンドコンサート 10月: 落語 11月: マンドリンコンサート 12月: オペラ 1月: ロカビリーコンサート 3月: 地域交流コンサート	10	1293	Instagramにアップ	7
グリーンカレッジ受講者 プレゼンツ事業・夏休みこども塾・キッズイングリッシュ	8月: 夏休み こども塾(月2回/14講座) 7月: キッズイングリッシュ(7月1回・8月1回)	2	夏休みこども塾(月2回/22講座)	2	119		
GCH 周年記念行事(ホール発表会・作品展)	7月: 16周年アニバーサリー発表会・説明会1日・リハーサル4日間 9月: 16周年アニバーサリー作品展(3日間)・説明会1日	2	7月: 16周年アニバーサリー発表会 説明会1日・リハーサル4日間 9月: 16周年アニバーサリー作品展 (3日間)・説明会1日 9月: 作品展体験コーナー	3	2443	Instagramにアップ 発表会は1Fモニターに発表会様子とHPに 動画UP	2
韓国語体験教室 体験教室～全4回～	韓国語・体験教室: 4月～6月	4	韓国語体験教室: 4月～6月	4	67		
ウクレレ教室 基礎コース～全12回～	ウクレレ教室 基礎コース: 4月～8月	12	ウクレレ教室 基礎コース: 4月～7月	12	205	Instagramにアップ(初日)	1
水墨作画教室 ～全12回～	水墨作画教室 : 4月～3月	12	水墨作画教室 : 4月～3月	12	86	Instagramにアップ	1
鉛筆画講座 ステップアップコース～全12回～	鉛筆画講座 ステップアップコース: 4月～3月	12	鉛筆画講座 ステップアップコース: 4月～3月	11	187	Instagramにアップ(スケッチ)	1
大正琴体験教室～全3回～	大正琴体験教室 4月～3回	3	大正琴体験教室 4月～3回	3	28	Instagramにアップ	1
似顔絵教室 初心者コース～全6回～	似顔絵教室 初心者コース: 5月～7月	6		0			
水彩画レベルアップコース～全10回～	水彩画レベルアップコース: 6月～3月: 10回	10	水彩画レベルアップコース: 6月～3月: 10回	10	192	Instagramにアップ	1
ウクレレ教室 ステップアップコース～全10回～	ウクレレ教室 ステップアップコース: 10月～2月	10	ウクレレ教室 ステップアップコース: 10月～2月	10	241	Instagramにアップ	1
健康イソヨガ教室～全6回～	健康イソヨガ教室: 4月～6月 健康イソヨガ教室: 9月～11月 健康イソヨガ教室: 1月～3月	18	健康イソヨガ教室: 4月～6月 健康イソヨガ教室: 9月～11月 健康イソヨガ教室: 1月～3月	18	427	Instagramにアップ	1
水彩画教室 入門コース～全10回～	水彩画教室 入門コース: 12月～3月	8	水彩画教室 入門コース: 12月～3月	8	158	Instagramにアップ	1
鉛筆画講座 基礎コース～全10回～	鉛筆画講座 基礎コース: 11月～3月	10	鉛筆画講座 基礎コース: 11月～3月	9	149	Instagramにアップ	1
フラワーアレンジメント～ガラスの靴編～ ～しめ縄飾り編～	フラワーアレンジメント～母の日のラウンドブーケ編～: 4月 ～しめ縄飾り編～12月	2	フラワーアレンジメント体験教室 ～しめ縄飾り～12月	1	29	Instagramにアップ	1
仲間と楽しむダンス教室～全8回～	仲間と楽しむダンス教室～全8回～ 4月～6月 9月～11月	6	仲間と楽しむダンス教室～全8回～ 4月～6月 9月～11月	16	277	Instagramにアップ	1
チアダンス体験教室～全6回～ 大人クラス・キッズクラス	チアダンス体験教室 大人クラス・キッズクラス: 5月～7月 大人クラス・キッズクラス: 9月～11月	12	チアダンス体験教室 大人クラス・キッズクラス: 5月～7月 大人クラス・キッズクラス: 9月～11月	12	233	Instagramにアップ	1
初心者向けキッズヒップホップ教室～全6回～	初心者向けキッズヒップホップ教室: 3～6オクラス・7～12オクラス 4～6月	6	初心者向けキッズヒップホップ教室: 3～6オクラス・7～12オクラス 4～6月	6	82	Instagramにアップ	1
中国語体験教室～全3回～	中国語体験教室～全3回～	3		0	0		
生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	6	生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	6	209	Instagramにアップ	1
羊毛フェルト体験教室	羊毛フェルト体験教室	1	羊毛フェルト体験教室 9月: ミケネコトイブドールキーホルダー 11月: クリスマスツリー	3	14	Instagramにアップ	2
オカリナ体験教室～全6回～	オカリナ体験教室～全6回～	6	オカリナ教室～全6回～	6	107	Instagramにアップ	1
大人の折り紙体験教室～全4回～	大人の折り紙体験教室～全6回～	6	大人の折り紙体験教室～全6回～	6	104	Instagramにアップ	1
書道教室: 実用書コース・漢字コース～全10回～	書道教室: 実用書コース・漢字コース～全10回～ 5月～9月	10	書道教室: 実用書コース・漢字コース～全10回～	10	263	Instagramにアップ	1
卓球教室: 初心者コース・経験者コース～全8回～	卓球教室初心者コース・経験者コース 島田先生	6	卓球教室初心者コース・経験者コース 4月～6月	8	189		
卓球教室: 初心者コース・経験者コース～全6回～	卓球教室初心者コース・経験者コース 内田先生	6	卓球教室初心者コース・経験者コース 2～3月 内田先生	6	132	Instagramにアップ	1
			親子で絵本とハーブ	1	31		
			ボジャギ体験教室	6	47	Instagramにアップ	1
			ガリンバ体験教室	1	15	Instagramにアップ	1
			デコパージュ体験教室	1	8	Instagramにアップ	1
			きりえ体験教室	1	9	Instagramにアップ	1
スクエアダンス体験教室	スクエアダンス体験教室	1	スクエアダンス体験教室	1	6	Instagramにアップ	1
			リボンレイ体験教室	1	9		
合計		185		204	7359		34

4 利用者サービスの向上

(1) 広報

SNSでの情報発信の方法を見直し、イベントや講座情報の訴求力強化に努めた。そのほか、新規層の獲得に向けて、周辺の幼稚園や学校などに直接呼びかけ、事業への招致やコラボイベントの実施を行った。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートについては、通常の施設利用者アンケートと、提案事業の参加者に対するアンケートの二種類を実施している。利用者アンケート結果について、職員・スタッフの対応は「とても満足」「満足」の割合が82.0%、施設のサービス全般の満足度は「とても満足」「満足」の割合が80.0%となっている。なお、提案事業参加者アンケートについては、95.7%が「満足」と回答している。

施設利用、提案事業ともに、8割以上の方が、高く評価しており、利用者のニーズに適切に対応できている。

5 管理運営経費の収支状況

【収入】

項目	予算額	決算額
委託料	■ 円	■ 円
施設利用料等収入	■ 円	■ 円
キャッシュレス決済端末の決済 手数料経費余剰の清算	■ 円	■ 円
光熱水費の補助金相当額の清算	■ 円	■ 円
合計	■ 円	■ 円

【支出】

項目	予算額	決算額
人件費	■ 円	■ 円
事業運営費	■ 円	■ 円
施設・設備維持管理費	■ 円	■ 円
事務費	■ 円	■ 円
本社経費	■ 円	■ 円
合計	■ 円	■ 円

【差引】

項目	予算額	決算額
差引（利益）	■ 円	■ 円

(1) 収入

収入については、予算額に対する決算額は、■■■■円増の■■■%であった。各種事業を積極的に展開し、施設利用料及び利用参加費の増加により、当初の計画を上回る収入を確保することができた。

施設利用収入及び利用参加費は、予算額と比較して施設利用収入が■■■%、利用参加費が■■■%となっている。

委託料（指定管理料）については、補正予算により、3階マイクチューナー交換費用及びグリーンカレッジ講義用PCの購入費用として■■■■円が措置された。

なお、年度協定に定める清算項目であるキャッシュレス決済手数料の余剰金及び光熱水費の補助金相当額として、■■■■円を区に返還した。

(2) 支出

支出については、予算額に対する決算額は、■■■■円減の■■■%となった。差異については、効率的な施設運営による人件費の削減や、徹底した節電による光熱費の削減が影響しており、当初の想定よりも低い執行状況となっている。

最終的な営業利益は、予算額に対し決算額は■■■■円増となった。

6 所管課の評価

(1) 評価

施設の維持管理全般について事業計画に基づく適切な運営が行われている。

提案事業についても、当課の目的である多世代に向けた学びの機会の拡大を理解し、「夏休みこども塾」や「キッズチアダンス」などの若年層を対象とした事業を複数回実施し、新たな利用者層の獲得に取り組んだ。

そのほか、地域と連携したコラボイベントの実施や、周辺の保育園をコンサート事業に招待するなど、施設周辺地域と連携した取り組みを数多く行っている。

これらの取り組みが利用者からも評価され、利用者アンケート調査による施設及び事業への満足度も、8割以上の方から「とても満足」、「満足」という評価を得ている。

(2) 今後の課題等

運営方針を踏まえた提案事業の実施により、利用者満足度の高い取り組みを展開することができている。

施設管理についても、物価高騰が進む状況の中で適切な維持管理を行い、高い利用者満足度を維持することができている。

グリーンカレッジ事業のDX化が進行しており、事業の運営方法にも工夫が求められているが、そのような状況においても民間の活力を活かし、利用者にとって満足度の高いグリーンカレッジ事業を展開できている。

施設稼働率については46.5%で、平日や夜間の空室が多い状況である。

今後、学びの多世代化の促進や施設稼働率の向上に向け、広報活動の推進や利用者のニーズに合わせた事業実施が求められる。

令和7年度郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

【令和7年度利用者数】

単位：(人)

(延人数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計
令和7年度	3,022	9,228	12,250
令和6年度	2,736	8,613	11,349
前年度比 (増減数)	110.5% (286人増)	107.1% (615人増)	107.9% (901人増)

【令和7年度利用件数・稼働率】

単位：(件)

(延件数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計	稼働率
令和7年度	225	591	816	39.3%
令和6年度	187	572	759	36.6%
前年度比 (増減数)	120.3% (38件増)	103.3% (19件増)	107.5% (57件増)	2.7 PT 増

※稼働日数 令和7年度：集会室 347日、練習室 347日
(令和6年度：集会室 347日、練習室 347日)

令和7年度の利用状況について、利用者数・件数ともに前年度より増加し、901人増・57件増となった。地域行事や地域のイベントが通常通り開催され、また施設の認知度を高めるための新たな取り組みを行い、見学等を含む一般の利用者が大きく増加したと思われる。

また稼働日数に対する施設利用率も、前年度より増加し、2.7ポイント増となった。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設の管理運営

管理業務全般については、基本協定及び年度協定のとおり実施され、施設貸出、設備の保守・修理、企画・運営協議会等各種会議への出席等、適切に施設の管理運営が行われている。指定管理者本社と現地施設、教育委員会との間において緊密な連携をとり、適切な施設管理・運営に努めている。

(2) 施設の維持管理

建築物環境維持管理、清掃、植栽・樹木等の維持管理、保安・警備業務については、業務水準書のとおり法定点検、日常点検を実施している。これら全般については、建築基準法、消防法、フロン排出抑制法等の関係法令や個人情報保護に関する取扱基準等を順守し管理を行っている。

令和7年度の修繕・工事については下記の7件を実施し、修繕・工事経費は合計 〇〇〇〇〇 円となった。

【令和7年度修繕・工事实績】

- ① 「1F廊下排煙窓ダンパー外れ修復」(〇〇〇〇〇 円*自社修繕)
- ② 「地下男子トイレスイッチ改修工事」(〇〇〇〇〇 円)
- ③ 「備品太鼓修繕」(〇〇〇〇〇 円)
- ④ 「地階空調機修繕」(〇〇〇〇〇 円)
- ⑤ 「太鼓台修繕」(〇〇〇〇〇 円*自社修繕)
- ⑥ 「全熱交換機Vベルト交換」(〇〇〇〇〇 円)
- ⑦ 「照明器具改修工事」(〇〇〇〇〇 円)

3 利用者サービスの向上

(1) 利便性の向上

利用予約の受付について、令和2年5月から導入した郵送受付を引き続き実施している。利用者からは、予約にあたり施設へ足を運ぶ必要がなくなり利便性が向上したとして好評を得ている。

また、高齢者や障がい者の施設利用にあたり、職員による積極的な声かけや動線確保を行っているほか、車椅子用の可動式スロープを導入するなど、ノーマライゼーションに配慮した運営を行っている。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望に迅速な対応を行っている。令和7年度利用者アンケートでは、「館に対する満足度」の項目で100%の評価となった。特に、職員の対応、館内の快適性・衛生面について評価する意見が多数あり、高い利用者満足度を維持している。

一方、施設に対する要望として、利用料金の値上げに関する意見、駐車スペースの不足や搬入用エレベーターがないことへの意見があった。

(3) 施設のPR

館独自のホームページ及びSNS(X(旧Twitter)及びインスタグラム)を運用し、予約状況やイベントや施設の告知にとどまらず季節の風物や地域の祭礼など積極的な情報発信を行っている。令和7年度の情報発信実績は151件(令和6年度:130件)となり、サービス水準に定める目標値130件を大きく上回った。

4 管理運営経費の収支状況

【収入】

項 目	予算額	決算額
指定管理委託料		
利用料金収入		
事業収入		
区への返還金		
合 計		

【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費		
施設管理費		
修繕・工事費		
太鼓修繕費		
手話通訳等派遣費		
本社経費		
合 計		

【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（利益）		

(1) 収入

予算額に対する決算額は、円減の％であった。

利用料金収入について、利用料金の値上げがあったことと同時に施設利用率も増えたため、予算額に対する決算額の割合が％となった。また、指定管理委託料については、指定管理者との協議により、清算項目（修繕・工事費、太鼓修繕費、手話通訳等派遣費用）の余剰金円が区に返還された。同様に、光熱水費の補助金値引き相当額円が区に返還された。

(2) 支出

予算額に対する決算額は、円減の％であった。

人件費・物価上昇に伴うコスト増加があったものの、事務経費の精査など指定管理者の企業努力により予算額内に収めることができた。

5 自主事業の実施状況

施設の設置目的の範囲内で、指定管理者の自己資金と創意工夫による自主事業を実施している。普段施設を利用しない地域住民が施設へ足を運ぶ機会となり、施設や郷土芸能の周知、利用者層の拡大などに貢献している。

令和7年度は、14回の自主事業を実施し、年間参加人数は206人となった。参加者アンケートにおいて、いずれも高い満足度評価を得ている。

【令和7年度自主事業】

No.	開催日	時 間	内 容	参加費	参加人数	満足度 (※)
1	4月26日	14:00～15:30	郷土芸能上映会	無料	7人	85%
2	4月23日～ 5月28日	—	旧粕谷家住宅～ 季節の飾り付け (五月人形)	無料	—	—
3	6月14日	13:00～15:00	伝承折り紙を楽しもう	1,800円	8人	100%
4	7月21日	①10:30～12:00 ②13:00～14:30	水引 de アクセサリー	1,500円	10人	100%
5	9月15日	①11:00～12:00 ②13:00～14:00	はじめての和楽器	無料	24人	100%
6	10月4日	14:00～15:30	郷土芸能上映会	無料	4人	100%
7	11月1日	①10:30～11:00 ②11:30～12:00 ③12:30～13:00	折り紙でつくる 季節のオーナメント	500円	21人	100%
8	11月1日	11:00～11:45	建築家と見る古民家の暮らし	無料	13人	100%
9	11月1日	—	木の実のリース づくり	500円	41人	100%
10	11月1日	—	天然石の万華鏡 づくり	1,000円	26人	100%
11	12月6日	14:00～15:00	アフタヌーンコンサート	1,000円	23人	100%
12	1月31日	10:00～11:30	だれでも和太鼓 体験会	無料	18人	100%
13	2月14日	10:30～11:30	繭玉でうさぎのお雛様を作ろう	750円	11人	100%
14	2月24日～ 3月28日	—	旧粕谷家住宅～ 花咲く古民家の ひなまつり	無	—	—

(※) 参加者アンケートの「大変満足」・「満足」回答割合（未回答除く）

6 所管課の評価等

(1) 評価

施設の維持管理について、業務要求水準書に基づき、適切に受付・清掃・点検等の管理運営が行われており、収支状況においても適正な執行が行われている。設備等の故障については、指定管理者のノウハウを活かした自社修繕チームによる迅速な修繕対応を行っており、利用者が安心・安全に利用できる運営が行われている点は高く評価できる。

また、郷土芸能や伝統文化に関する自主事業を積極的に展開しており、参加者

アンケートでは非常に高い評価となっている。普段施設を利用する機会のない区民に対するアプローチとして、施設や郷土芸能の認知度向上に寄与しており、高く評価できる。

(2) 今後の課題

築38年が経過し、施設設備の老朽化は避けられない課題である。指定管理者による迅速な修繕対応と、区による計画的な施設改修により施設保全に努め、今後も利用者が安心・安全・快適に利用できる環境を整備・維持していく。

高齢化や会員減少等により活動を休止する利用団体が増加しており、利用者数の増加は継続的な課題である。施設利用率の向上はもとより、「郷土芸能の保存と伝承」という施設の設置目的を果たす上でも、近隣大学との連携や後継者育成事業の展開など、新規利用者の獲得に向けた取り組みを模索していく必要がある。

また、旧粕谷家住宅との連携をはじめとする徳丸地域の文化資源の活用については、令和7年度より、旧粕谷家住宅における指定事業の実施や自主事業での活用などを新たに実施しており、より幅広い層に向けた施設の周知と郷土芸能や伝統芸能へのアプローチに引き続き取り組んでいく。